

## 数値化至上主義世界に生きる私たちへ

私たちは数値化の世界に住んでいます。でも、数値化に慣れてしまうと数値化が真実を表すと思いがちです。でも、数値化できない真実はたくさんあります。特に目標を達成できなかったという事実を突き付けられた時、重要になります。達成したのが20%だと知れば、後80%も残っている…という気持ちになります。Aさんは自殺の危機から救えたけど、Bさんは自殺してしまっただから意味がない、等。でも、良い行い・善を数値化する事はできないと信じています。私たちがいずれこの世を去る時、迎えに来た天使が、何故あなたが命を救ったのは40人で50人じゃないの？と聞くでしょうか？そんな事を聞くはずがないです。ひとりの子供の目に光を灯す事ができたのならば、それは数では表せない善を行ったことになる。何かをしようとする時、絶望に陥ってしまうケースのひとつは、まだ、達成できていない事ばかりを見てしまう時です。あるいは、善を数値化できると思い、もつと数値を上げようと思うからです。あらゆるものが数値化され、数値が神話化し、幻想化が生まれる。でも、それは絶望を生むだけです。何故なら、自分が達成したいと思う事を、全て達成する事が難しいからです。例えば、総理大臣を務めた多くの人は、絶望して辞めています。それは成し遂げなかった事を成し遂げられなかったからです。数値化至上主義世界に生きる私たちに必要なのは、人々に対して愛情を注ぐ行動の中に、なんとかして留まる能力であり、自分自身の成果を喜ぶ能力です。どこかの場所で行った良いことを喜ぶ能力です。実例を挙げれば、ひとりの子供の瞳に明かりを灯した事。誰かが立ち直れるように手を貸した事。数では表せない善を行う事に喜びを感じていきたいです。特に、各業界で頑張っている皆さんにこの事をお伝えしたいです。とはいえ、今回、大上段に構えた難しいテーマであり、そもそも市議会議員が語るべきテーマか怪しいと自認しています。でも、やはり言いたい事はひとつです。「私たちのより良い生き方」を話し合ってください。個々人の想いが集まれば、良い社会が形成されると信じています。

今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成26年10月1日

増田好秀